

NKE、農業分野に参入

第1弾 伸縮自在の柄杓考案

【京都】NKE（京都市伏見区、中村道一社長）は、農業・園芸分野に参入する。主力の工場自動化（FA）機器以外の市場を開拓する。関連商品第1弾で伸縮自在の柄杓（ひしゃく）「NOBITA（のびた）」を考案した。肥料や水をまくなど作業時に腰への負担軽減が図れるのが特徴。このほどクラウドファンディング（CF）サイト「マクアケ」で同商品を出品し、9月中旬めどに事業化の最終判断を行う。

FA機器以外を開拓

今回の商品は、NKE良。すくい口には10Eの新規事業部に所属。0ミ、200ミ、30ミ実家が農家の若手社員が現場の声を聞き企画した。水など散布物部から持ち手までの長さすくう先端部は、通さは、約37ミ―約63ミ常の丸いおわん状でなく、狭間で自由調節でき、くスコップ形状に改良。長くすれば腰をかかま



考案した伸縮自在の柄杓「NOBITA」

みで4980円を想定。CFでは目標金額を10万円に設定した。

ずには作業できる。カラ1は黒。重量は約190g。標準価格は消費税込

ねて、CFを活用した経緯がある。中村社長は「（CFで）市場の反応を確かめ、事業展

開を決めたい」とする。農業分野における第2弾の商品として、手軽に使える肥料計量器も計画している。同社は「農作業の小さな課題解決から始め、大きな課題解決につながる商品も手がけていきたい」（新規事業部インキュベーショングループ）としている。

「NOBITA」は、伸縮自在の柄杓で、水や肥料をまくのに使われる。NKEは、農業分野に参入する。第1弾として、伸縮自在の柄杓を開発した。この柄杓は、腰への負担軽減が図れるのが特徴。クラウドファンディングで出品し、9月中旬めどに事業化の最終判断を行う。

「NOBITA」は、伸縮自在の柄杓で、水や肥料をまくのに使われる。NKEは、農業分野に参入する。第1弾として、伸縮自在の柄杓を開発した。この柄杓は、腰への負担軽減が図れるのが特徴。クラウドファンディングで出品し、9月中旬めどに事業化の最終判断を行う。